


報道関係各位



青年版国民栄誉賞
第30回人間力大賞 受賞式典
～大空へ羽ばたけ！熱き変革者たち！
NINGENRYOKU 30th Anniversary～
新グランプリの栄冠はどのファイナリストに？

第30回人間力大賞受賞式典のご案内


- ◇取材依頼日時：平成28年9月17（土）
- ◇実施場所：〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨3-20-1
大正大学内 礼拝堂
- ◇受賞式典スケジュール
 - *14：00～14：30 受付
 - *14：30～15：20 開会 各奨励賞 紹介映像 奨励賞授与
 - *15：30～16：00 記者会見 メディア対応
- ◇第30回人間力大賞プレゼンテーション会の動画視聴はこちら↓↓↓
<https://www.youtube.com/watch?v=mX0YjaewCns>
- ◇過去の著名な受賞者：橋本聖子さん、東ちづるさん、三浦知良さん等
第30回人間力大賞HP <http://www.jaycee.or.jp/ningenryokutaisyo/past-winner/>



〈本件に関するお問い合わせ先〉
公益社団法人日本青年会議所 事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3
TEL：03-3234-5601/FAX：03-3265-2409
MAIL：jcpres.japan@gmail.com
※月～金10:00～18:30（祝祭日、年末年始を除く）

ファイナリスト10名のご紹介！

■ 町井 恵理 NPO法人 AfriMedico




日本発祥の置き薬事業を通じて、アフリカの人々の健康増進に寄与。

Q,活動を始めたきっかけを教えてください。

私は青年海外協力隊としてニジェルで2年間、マラリア・エイズなどの感染症予防啓発活動を行いました。2年後、住民の方の症状に対する認知度は大きく向上しましたが、自発的にそれらを防御するような行動には繋がっていませんでした。このような経験を重ねた結果、大学院（MBA）に入学し、自分の能力向上と共に仕組みを考え、より持続的に活動を進めるためにNPOを設立し、本格的に取り組むことを決めました。

■ 山口 真史 一般社団法人Newlook




高校中退者が次のステップに踏み出すために必要な学力と社会性を身につけるための活動を続ける。

Q,活動を始めたきっかけを教えてください。

中学・高校教員時代に、担当学年から中退者が出たことをきっかけに、中退後の生徒たちのその後の人生が気になったことから始めました。学校教育から外れる生徒は現在年間約6万人おり、中退後の人生について調べるとあまり良い話は聞かれないです。私自身も高専中退経験があり、中退したからといって人生は終わりというわけではなく、中退としての生き方もかなり多様に存在することを知らないとはいえず活動を始めました。

■ 門田 瑠衣子 特定非営利活動法人 エイズ孤児支援NGO・PLAS




エイズ孤児達に対し、現在までに3校の小学校支援、11棟の学校教室建設をし、1050名の子どもの支援。

Q,活動を始めたきっかけを教えてください。

ケニアで孤児院を訪問した際、大きなベッドに10数人の赤ちゃんがゴロゴロと寝かされていました。なぜこの子たちが孤児院へ来たのかを聞くと、エイズで親を亡くしていたり、親がHIV陽性で働けないからだとのことでした。エイズ孤児はHIV/エイズへの差別偏見から引き取り先がなく、疫病神のように扱われているという話を聞き、大きな衝撃を受けました。帰国し、エイズ孤児たちのために何かしたいと、団体を立ち上げました。

■ 川原 隆邦 無所属




400年前から伝わる蛭谷和紙の製法を唯一継承し、幻の技術を絶やさず守り続けている。

Q,この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）

私は里山の生業で豊かな生活が持続・継続できる環境を作りたいと考えています。里山に人が住むからこそ、そこに人のつながりが生まれ、その地の文化が醸成され、伝統技術が磨かれていくのだと考えています。人にとって里山こそが最も恵みを生み出す環境にあり、春夏秋冬という四季にあわせた生活を営み、里山が起点となる生活スタイルを取り戻すことができれば、現在の社会問題の多くは解決できると考えています。

■ 森山 啓恵 特定非営利活動法人 3keys




学習ボランティアの派遣。補習教室の運営支援、教材支援、運営人材の派遣。子供の権利保障推進事業。

Q,この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）

児童虐待対応件数は年間約9万件で、毎年100名以上の子どもたちが虐待で命を落としている。更に、虐待や貧困等で苦しむ子どもたちは、十分な教育環境や、自分や他者への信頼も得られづらく、大人になってからも貧困や不自信で苦しむことも少なくない。私は全ての子どもたちに保障されるべき、安心安全の環境や、社会に出る上で必要な教育やサポートが、どんな家庭で生まれ育っても保障されるような社会を目指している。

■ 志賀口 裕輔 ホットファーム株式会社




農業を活用して社会的価値を生み出し、共生社会を実現するために4つのテーマを基に各事業に取り組む。

Q,活動を始めたきっかけを教えてください。

障害を持つ子どもの未来と後継者不足等により増え続ける荒れはた畑。2008年のリーマンショックの影響による失業者の増加に伴いさらに条件的な不利を抱えている障害を持つ子ども達の将来を考えた時に、当時の金融危機から工業産業の業績が低迷し、未来へ希望が持てない。もう一つの問題として、日本の農業における後継者の減少により耕作できない田畑の増加で食に対する影響も懸念される。

■ 松尾 好純 公益社団法人ひびき青年会議所




一人親家庭向けのシェアハウスを運営、提携する支援団体と共に自立支援を行う。

Q,この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）

「孤立」と「経済」の課題を解決し、一人親家庭であっても、将来に希望をもってイキイキと生活でき、仕事も、子育ても、やりたいことも、全てあきらめることなく自己実現できるようにしたいと思います。また、地域のコミュニティ全体で子育てをサポートし、子育ては頼りあっていいんだ、という文化を根付かせたいです。そして、一人親家庭の負の連鎖を断ち切り、また、それが原因でおこる児童虐待もなくしたいのです。

■ 福本 塁 神奈川わかものシンクタンク




「誰もが災害時に助かる地域のつながりを創る」ために、「防災トランプ」を開発

Q,活動を始めたきっかけを教えてください。

2004年に癌で亡くなった兄の最期の言葉は「俺の分まで社会貢献して」だった。その言葉を胸に地域活動に注力、2008年に防災活動を開始。東日本大震災発災後、ライフラインが未復旧の南三陸町で医療団の調整業務に従事。被災地から学んだ「能動性：自分で気づき、考え、動く事を前提に様々な人と協力する」を伝えるため、防災をテーマに、参加者が能動的に参加し、地域の人々が集いお互いを知る場が必要だと考え現在に至る。

■ 青木 圭太 一般社団法人真岡青年会議所




学生に夢を与え起業をさせるプロジェクトとして、栃木アントレプレナーコンテストを開催。

Q,未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください（アクション）

栃木県内の高校生、専門学生、大学生すべての生徒を対象に、起業プランの募集を行い、グランプリの学生を社長として起業させるコンテストを行った。（栃木アントレプレナーコンテスト）現在2回のコンテストにより、2名の高校生社長を輩出。

■ 河村 泰孝 指定保育士養成施設 こども学習 特定非営利活動法人NPOの会



厚生労働大臣より、全国で初めてNPO法人運営の保育士養成施設として指定された学校を運営。

Q,この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）

厚生労働省は平成27年10月時点で、保育所に預けたくても預けることの出来ない待機児童が全国で45,315人いると発表しました。国は保育園の設置を急いでいますが、そこで勤務する保育士の数が不足するという問題に直面しています。出生率を高めるためには、子育てのしやすい環境を整えることが必須であると考えています。保育士不足という問題解決の一翼を担い、子育てに希望の持てる笑顔溢れる環境実現を切望しています。